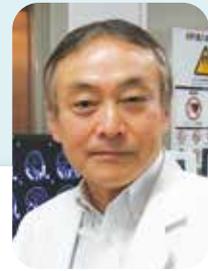


健康テラス



「くも膜下出血」



脳疾患の中で最も注意すべき、恐ろしいものがかくも膜下出血です。多くが脳動脈瘤という脳血管に風船のような膨らみ(瘤)が出来て、その壁が薄くなって破れて発症します。瘤は破裂するまでは、無症状で経過することがほとんどです。脳ドックなどの検査で発見されるものは、未破裂脳動脈瘤といいます。瘤が破裂した時は、激しい頭痛が起こります。一度破れた瘤は必ず再破裂を起こして命に関わりまますので、直ちに外科的処置が検討、施行されます。CT撮影で診断し、MRI検査や脳血管撮影検査で瘤の場所や状態を確認して手術を行ないます。手術は開頭による脳動脈瘤クリッピングとカテーテルを

森の木脳神経脊髄外科
古賀 久伸 先生

用いて脳動脈瘤内にコイルを詰め込む方法があり、最近は後者の血管内手術方法が増えています。

通常の頭痛やめまいの検査で発見される脳動脈瘤は未破裂なので、直ぐに手術を行なうことはありませんが、脳動脈瘤の場所や大きさや形や年齢などを考慮して、危険があると判断されれば、手術を検討します。また小さくても一度できた脳動脈瘤は自然に消えることはありませんので、変化がないかを定期的に検査します。

喫煙や大量飲酒、高血圧、家族歴などが危険因子ですので、このような方は一度検査を受けられることをお勧めします。

やってみゅーで手話

手話を使う、耳が聞こえない人と出会ったら、挨拶をしてみましょう！

「おはようございます」



①朝

頭をこぶし側に少し傾け、手を下側におろすと同時に頭をあげる。起きる時に枕から顔をあげるしぐさから。「朝」という手話



①あいさつ

むかいあわせた両手人差し指を軽くまげる。人と人がお辞儀をしている様子。「挨拶」という手話

長与再発見！

長与町老人クラブ「青葉会」 青葉台団地50周年記念「写真展」を開催

5月26日、青葉台団地が完成し50周年になるのを記念し青葉台公民館にて、50周年記念写真展を開催しました。午前中は、近隣の老人クラブ会長・自治会関係者の皆さまが、来賓として出席。午後から青葉会の会員及び住民の方々約80名が来場されました。長与町役場秘書広報課から、昔の長与町内の写真30枚、池山地区の尾上隆三氏から、ご提供



いただいた写真、計90枚ほどを掲示。写真を前に、青春時代や子育て時代の思い出で大変賑わいました。

青葉会会長 八田賢一



投稿記事を募集しています！

左記二次元コードから投稿または、
長与町公式LINEに「広報ながよ投稿」と送信

※必ず写真を添付してください。また、写真は広報ながよに掲載することの承諾を受けてください。

※広報として適当でないと思われるものは掲載できません。また、すべての原稿を掲載できるわけではありません。何卒ご了解ください。